



2021年8月13日

各位

会社名 ソースネクスト株式会社
 代表者 代表取締役社長兼COO 小嶋 智彰
 (コード番号 4344 東証第一部)
 問合せ先 取締役常務執行役員兼CFO 青山 文彦
 電話番号 03-6254-5231
 会社名 ソースネクスト株式会社

業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、2021年5月12日に公表いたしました2022年3月期の業績予想を修正いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

1. 業績予想の修正

2022年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(2021年4月1日~2021年9月30日)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に帰属する 当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益 円 銭
前回発表予想(A)	6,850	46	0	0	0
今回修正予想(B)	5,364	△550	△572	△429	△3.15
増減額(B-A)	△1,486	△596	△572	△429	
増減率(%)	△21.7%	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2021年3月期第2四半期)	5,788	284	242	124	0.92

2022年3月期 通期連結業績予想数値の修正(2021年4月1日~2022年3月31日)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に帰属する 当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益 円 銭
前回発表予想(A)	16,817	578	550	376	2.76
今回修正予想(B)	15,050	104	100	36	0.27
増減額(B-A)	△1,767	△474	△450	△340	
増減率(%)	△10.5%	△82.0%	△81.8%	△90.4%	
(ご参考)前期実績 (2021年3月期)	12,851	540	452	191	1.40

修正の理由

2022年3月期第2四半期連結累計期間及び2022年3月期通期連結業績予想につきましては、同第1四半期連結累計期間における販売実績が想定よりも伸び悩んだことを主要因として、業績予想を下方修正いたします。特に新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い家電量販店での販売が想定よりも落ち込んだこと、オリンピックの実施や観客動員の有無が直前まで流動的だったことにより自治体等からの「POCKETALK®(ポケットーク)」の需要が減少したことにより、家電量販店チャネルの連結売上高(予想)を8.1億円引き下げました。また、前期の法人テレワーク需要下における年度末法人予算消化需要の拡大に伴った「Meeting Owl(ミーティングオウル)」販売増の反動減により販売

実績が鈍化したことを受け、「Meeting Owl（ミーティングオウル）」の連結売上高(予想)を3.7億円引き下げました。

当期はポケットークの新機能「ポケットーク字幕」及び「グループ翻訳」や、引き続き需要を見込んでいるテレワーク・リモート会議向けの新ブランド「KAIGIO（カイギオ）」シリーズをはじめとした新製品等の売上及び利益への貢献を見込んでおりますが、同第1四半期連結累計期間の販売実績に基づく通期販売予測の見直しの結果、通期連結売上高(予想)を17.6億円引き下げることとなり、通期の販売費及び一般管理費の見直しを行ったものの、売上の落ち込みに伴う利益の減少を補うことが難しいと判断し、通期営業利益(予想)を4.7億円引き下げることとなりました。当該営業利益の減少に伴い、経常利益(予想)を4.5億円、親会社株主に帰属する当期純利益(予想)を3.4億円下方修正いたします。

今後も「ポケットーク」の国内・海外での拡販及び新規需要開拓、市場ニーズに合致したテレワーク関連のソフトウェア、ハードウェア、IoT製品のスピーディな提供を行っていくことで、経済環境の変化に柔軟に対応可能な強い経営基盤を構築して参ります。

※上記の予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。

2. 配当予想の修正

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想 (2021年5月12日公表)	0円00銭	0円41銭	0円41銭
今回予想 (2021年8月13日公表)	0円00銭	0円04銭	0円04銭
当期実績 (2022年3月期)			
前期実績 (2021年3月期)	0円00銭	0円21銭	0円21銭

配当予想修正の理由

当社は、将来にわたり業績の向上を図ることが企業価値を高め、株主の皆様のご期待に応えることにつながると考えており、業績、配当性向及び中長期の企業成長に必要な投資額などを総合的に考慮して、利益配分を行なっていくことを基本方針としております。

この方針のもと、連結配当性向を15%（前期連結配当性向15%）としており、2022年3月期の業績予想の修正に伴い、配当予想も修正いたしました。連結業績の詳細につきましては、同日付で公表した「2022年3月期 第1四半期決算短信」をご参照下さい。

今後も、経営状況を勘案しながら安定的に配当する方針を堅持する所存であります

※上記の予想は、現時点における入手可能な情報に基づいており、実際の業績等は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以上